



2024年2月14日

各 位

会 社 名 ダントーホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 前 山 達 史
 (コード番号5337 東証スタンダード)
 問合せ先 総務部長 田 中 靖 久
 (TEL (06)4795-5000)

営業外費用の発生及び通期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年11月14日に公表いたしました2023年12月期通期連結累計期間の業績予想値と実績値との間に差異が生じ、また、当連結会計年度において発生した営業外費用の発生について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の内容

持分法による投資損失

第3四半期連結累計期間において、99百万円の持分法による投資損失を計上しておりましたが、当第4四半期連結会計期間において36百万円の持分法による投資損失を追加計上し、当連結会計年度において持分法による投資損失は135百万円となりました。

2. 2023年12月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,440	△ 850	△ 940	△ 930	△28円73銭
今回発表実績 (B)	5,554	△ 860	△ 954	△ 955	△29円47銭
増減額 (B-A)	114	△ 10	△ 14	△ 25	
増減率 (%)	21.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	4,644	△ 1,044	△ 1,082	△ 370	△12円49銭

3. 差異の理由

2023年12月期通期連結累計期間の業績につきましては、タイル事業においては、販売体制の強化及び指定力の向上、高付加価値商品の拡販による利益率の改善に努めた結果、順調に成果として表れており、売上高においては104百万円、前回予想値より上回りましたが、原材料、燃料及び運賃等の急激な高騰など、引き続き非常に厳しい状況にあり、営業利益においては17百万円下回る結果となりました。

不動産事業においては、海外の既存投資家より新規及び複数の追加のアセットマネジメント業務を

受託、投資アドバイザー業務においては、複数の大型案件のアドバイザー業務及び媒介業務を受託、また、受託資産の拡大に努めた結果、売上高9百万円及び営業利益6百万円、前回発表予想値より上回る結果となりました。

これらの結果、売上高については114百万円、前回予想値より上回りましたが、営業利益については10百万円、前回予想値より下回る結果となりました。

経常利益については、当第4四半期連結会計期間において、持分法による投資損失36百万円を営業外費用に計上することとなり、前回発表予想値を14百万円下回り、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想値を35百万円下回る結果となりました。

以 上